

赤潮・貧酸素情報（４）

令和元年 8 月 23 日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

8 月 21 日（水）に全域調査を行った結果、宇部市沖のシーバースで有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が確認されました。

<プランクトンの状況>

○宇部市沖のシーバース付近で、有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが海水 1cc あたり最大 153 細胞確認されました。（図 1）

* 本種は、海水 1cc あたり数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。

* 増殖初期は中層で増殖する性質を持っているので、海面からの観察では着色が判別しにくい種類です。

○本種は局所的に密集することが多いため、船がその海域を通過した際、活け間内で魚介類がへい死することがあるので、操業の際は引き続き注意をお願いします。

<貧酸素の状況>

○シーバース付近の底層では酸素濃度が 50% を下回っていますが。全ての調査点の各層で貧酸素（酸素濃度 30% 以下）は発生していません。（図 2）

<今後の対応>

○今後の天候や海況の変化によっては、当該プランクトンや貧酸素の発生も変化するものと考えます。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

8/21 漁場調査結果

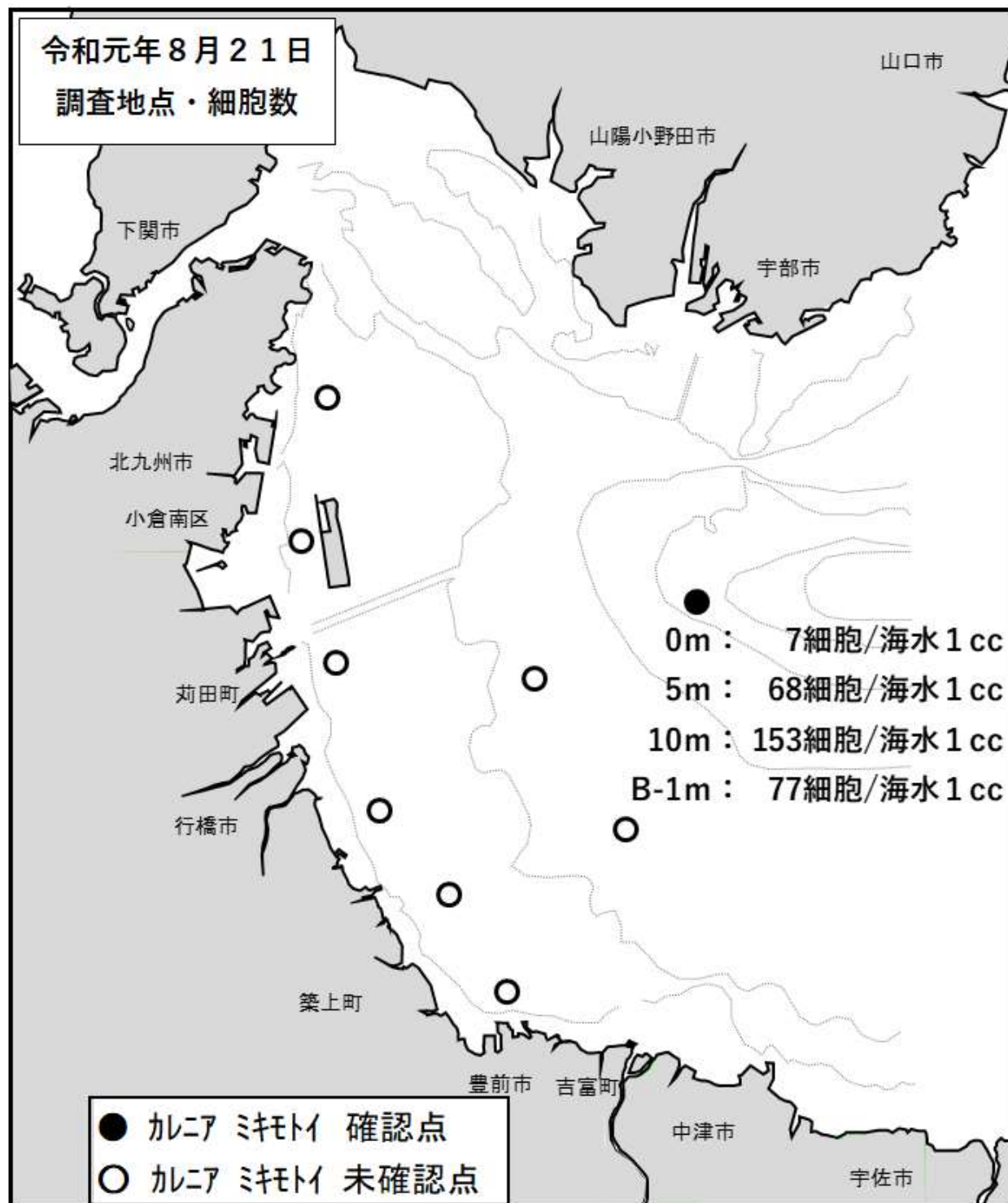


図1 海水1ccあたりのカレニア・ミキモトイの細胞数

●は調査点

数字は、左から表層/水深5m層/水深10m層/海底から1m層の
カレニア・ミキモトイの細胞数（－は欠測）

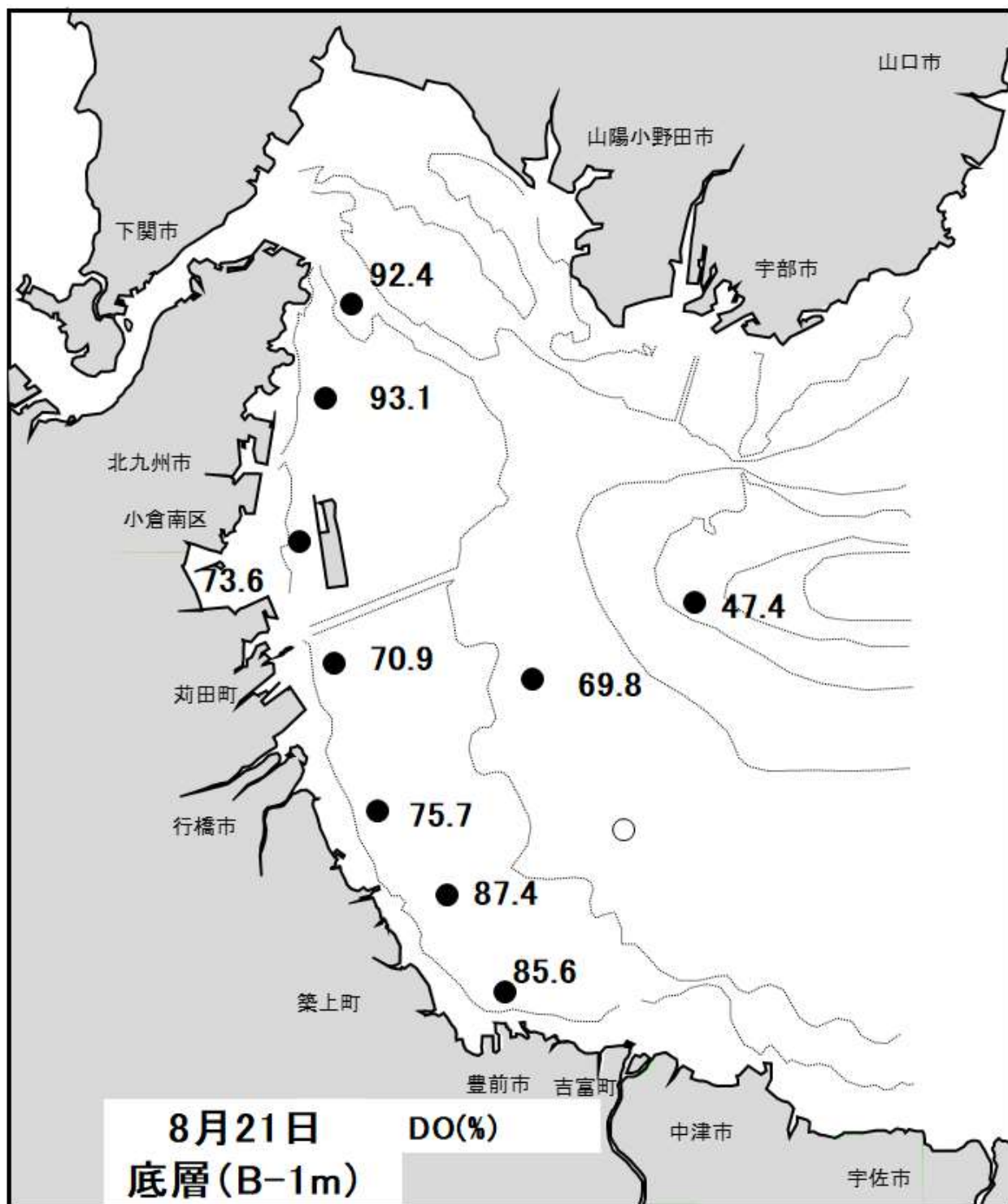


図2 各調査点の底層の酸素濃度 (%)